



2027年3月期第1四半期

決算説明資料

本資料は、当社の2027年3月期第1四半期における連結業績の概要及び今後の経営展望に関する情報の提供を目的としたものであり、当社の発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。

本資料には当社の将来に関する記述が含まれております。当該記述は当社の将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。従って、将来の業績に関しては、当社の経営環境の変化等により変更を余儀なくされることがあることにご留意下さい。

商号	HSホールディングス株式会社 (HS Holdings Co., Ltd.)		
代表者	代表取締役社長 松 村 恭 也		
所在地	東京都港区虎ノ門五丁目11番1号 オランダヒルズ森タワーRoP1307号		
設立	1958年(昭和33年)1月21日		
資本金	12,223百万円		
グループ会社数	〔連結子会社〕5社 〔持分法適用関連会社〕4社		
従業員数 (臨時従業員含む)	〔グループ全体〕 5,856名	(当社単体) (連結子会社) (持分法適用関連会社)	5名 885名 4,966名

【株式情報】

上場市場	東京証券取引所 STANDARD市場
証券コード	8699
発行済株式総数	40,953,500株
時価総額	47,178百万円

2026年6月末時点

1958年 1月	当社(協立証券(株))設立
1999年 3月	H.I.S.の創業者、澤田秀雄が当社代表取締役社長に就任 (2016年11月より代表取締役会長に就任)
1999年 4月	エイチ・アイ・エス協立証券(株)に商号変更
2001年 4月	エイチ・エス証券(株)に商号変更
2004年10月	大阪証券取引所ヘラクレスに株式上場 ※ 現在は東京証券取引所STANDARD市場に株式上場(証券コード:8699)
2006年 9月	エイチ・エス証券分割準備(株)(当社の証券事業の受皿会社)を設立
2007年 4月	澤田ホールディングス(株)に商号変更し、持株会社体制に移行 エイチ・エス証券分割準備(株)はエイチ・エス証券(株)に商号変更し、当社の証券事業を承継
2021年12月	澤田秀雄が当社代表取締役会長を退任し、新経営体制へ移行 HSホールディングス(株)に商号変更(2022年1月1日より)
2022年 3月	エイチ・エス証券(株)を売却

〔連結子会社〕5社 〔持分法適用関連会社〕4社

《関係会社》		● 連結子会社 ▲ 持分法適用関連会社	2026年6月末時点
主な業種	会社名	議決権比率	
銀行	▲ ハーン銀行（Khan Bank JSC）	49.77%	
	● キルギスコメルツ銀行（OJSC Kyrgyzkommertsbank）	52.90%	
	▲ ソリッド銀行（JSC Solid Bank）	46.80%	
リユース	● 株式会社STAYGOLD	100.00%	
	● Happy Price Company Limited（HP香港）	100.00%	
	▲ 株式会社日本オークション協会（Japan Watch Auction）	50.00%	
	▲ World Watch Auction Limited	25.00%	
その他	● H.S. International（Asia）Limited	100.00%	
	● HS Financial Pte. Ltd.	100.00%	

〔連結子会社〕5社 〔持分法適用関連会社〕4社

2026年6月末時点

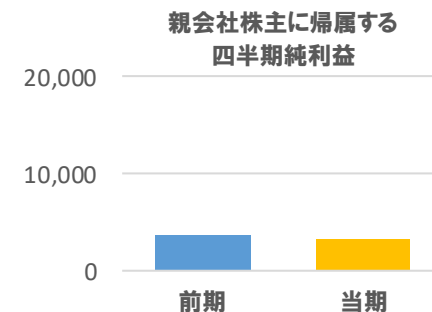
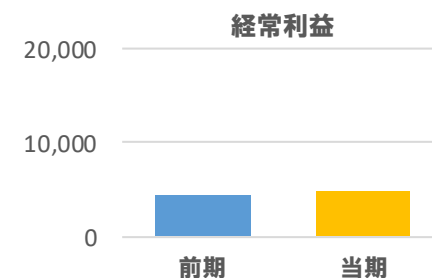
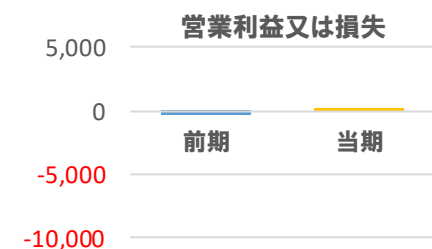
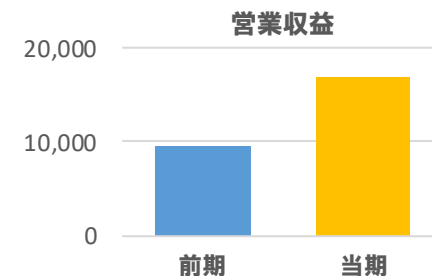
《主要関係会社の設立又は当社グループ加入の経緯》

● 連結子会社 ▲ 持分法適用関連会社

会社名	沿革（設立又は当社グループ加入の経緯）
▲ ハーン銀行（Khan Bank JSC）	2003年 国際競争入札により株式を取得
● キルギスコメルツ銀行（OJSC Kyrgyzkommertsbank）	2017年 株式を取得
▲ ソリッド銀行（JSC Solid Bank）	2012年 第三者割当増資により株式を取得
● 株式会社STAYGOLD	2022年 株式を取得
● H.S. International (Asia) Limited	2008年 設立
● HS Financial Pte. Ltd.	2024年 設立
● Happy Price Company Limited（HP香港）	2025年 PD社の株式取得によりグループ加入
▲ 株式会社日本オークション協会（Japan Watch Auction）	2025年 PD社の株式取得によりグループ加入
▲ World Watch Auction Limited	2025年 PD社の株式取得によりグループ加入

(単位:百万円)

科目 \ 期間	2026年3月期 第1四半期 (2025年4月～2025年6月)	2027年3月期 第1四半期 (2026年4月～2026年6月)	前年同期比
営業収益	9,622	16,941	176.1%
純営業収益	2,354	3,563	151.4%
営業利益 (▲営業損失)	▲260	137	- %
経常利益	4,373	4,750	108.6%
親会社株主に帰属 する当期純利益	3,660	3,155	86.2%



(単位:百万円)

科目 \ 期間	2026年3月期 (2026年3月末時点)	2027年3月期 第1四半期 (2026年6月末時点)	前期末比
総資産	131,996	137,980	104.5%
純資産	100,635	104,119	103.5%
現金預金	18,797	19,209	102.2%

連結業績変動の主な要因

■ 営業収益 9,622百万円 ⇒ 16,941百万円 + 7,318百万円

■ 純営業収益 2,354百万円 ⇒ 3,563百万円 + 1,209百万円

⇒リユース事業において、SG社の売上好調のため、営業収益及び純営業収益は増加した。
(それぞれ+7,234百万円、+1,189百万円)

■ 営業利益 ▲260百万円 ⇒ 137百万円 +397百万円

⇒リユース事業において、事業拡大に伴い販管費が増加しているが、売上の大幅増により
営業利益も増益となった。(+479百万円)

■ 経常利益 4,373百万円 ⇒ 4,750百万円 + 376百万円

⇒ソリッド銀行の減益に伴う持分法投資利益の減少(▲155百万円)

⇒リユース事業の売上増に伴う増益(+428百万円)

⇒円安進行に伴う為替差益の増加(+219百万円)

■ 当期純利益 3,660百万円 ⇒ 3,155百万円 ▲ 504百万円

⇒ハーン銀行からの配当受領が無かったことによる法人税等の減少(+1,303百万円)

⇒ハーン銀行の留保利益に関する税効果による法人税等調整額の変動(▲2,237百万円)

2027年3月期第1四半期（2026年4月1日～2026年6月30日）

（単位：百万円）

セグメント 科目	銀行 関連事業	リユース事業	その他事業	連結
営業収益	747	16,190	4	16,941
営業収益の内訳 （外部／内部）	外 747 内 -	外 16,190 内 -	外 4 内 0	-
営業利益	14	341	▲224	137
経常利益	4,141	296	681	4,750

2026年3月期第1四半期（2025年4月1日～2025年6月30日）

（単位：百万円）

セグメント 科目	銀行 関連事業	リユース事業	その他事業	連結
営業収益	663	8,955	7,476	9,622
営業収益の内訳 （外部／内部）	外 663 内 -	外 8,955 内 -	外 3 内 7,473	-
営業利益	34	▲137	7,296	▲260
経常利益	4,482	▲131	7,495	4,373

※ 営業収益の内訳（外：外部顧客に対する営業収益／内：セグメント間の内部収益又は振替高）

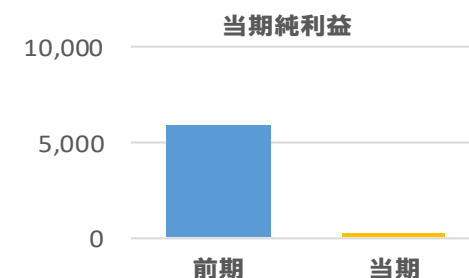
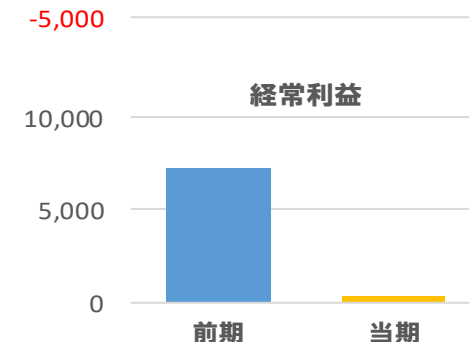
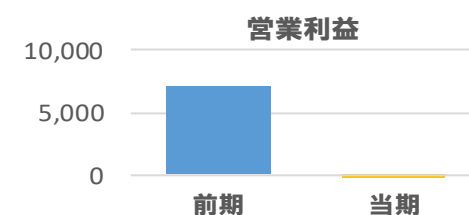
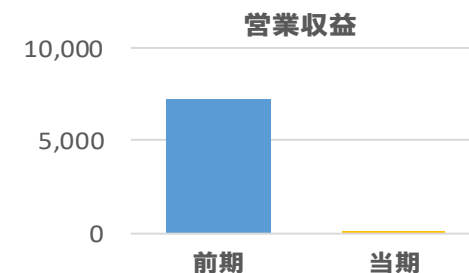
※ 連結は、セグメント間の内部収益を控除後の数値を表示。

(単位:百万円)

科目 \ 期間	2026年3月期 第1四半期	2027年3月期 第1四半期	前年同期比
営業収益	7,212	4	0.1%
営業利益	7,043	▲204	－%
経常利益	7,242	297	4.1%
当期純利益	5,909	193	3.3%
総資産 【前期末 / 当期末】	53,722	53,694	99.9%
純資産 【前期末 / 当期末】	53,365	53,222	99.7%

主な増減要因

- 当期は、関係会社からの配当金が無かったため、前年同期比で大幅な減収減益となった。
(関係会社からの配当金は内部取引のため、連結業績には影響しない)



(単位:百万MNT)

商 号	ハーン銀行(Khan Bank JSC)	科目	2025年12月期 第1四半期	2026年12月期 第1四半期	前年同期比
所 在 地	モンゴル国 ウランバートル	Interest income (資金運用収益)	676,303	805,857	119.2%
資 本 金	191,219百万MNT (MNT:トゥグルグ)	Net interest income (純資金運用収益)	326,498	327,845	100.4%
議 決 権 の 所 有 割 合	49.77%	Profit for the period (当期純利益)	178,361	169,543	95.1%
主 要 事 業	銀行業	Total assets (総資産) 【前期末/当期末】	23,942,309	25,332,999	105.8%

会社プロフィール

- ① モンゴル国内に500店舗を超える支店ネットワークを有するモンゴル最大の商業銀行
- ② スマートフォンアプリや非接触カードの提供等のデジタルバンキングサービスを推進

概 況

- 融資残高の増加、金利上昇の影響により、融資利息収入が増加 (517,299百万MNT → 613,850百万MNT +18.7%)
預金残高の増加、預金金利上昇の影響により、預金利息費用が大幅増加 (213,419百万MNT → 280,036百万MNT +31.2%)
⇒預金利息(主に定期預金)費用が大幅に増加した結果、純資金運用収益の増加(+0.4%)は資金運用収益の増加(+19.2%)より抑えられている
- モンゴルは好景気が続いており、融資残高の増加に伴い、貸倒引当金繰入額もわずかに増加している (23,599百万MNT → 24,254百万MNT +2.8%)
非金利収支はほぼ前年並み (87,150百万MNT → 87,261百万MNT +0.1%)
人件費等の増加による販管費の増加 (172,635百万MNT → 193,713百万MNT +12.2%)
⇒依然として融資残高や資金運用収益は増加しているが、預金利息や販管費の大幅増加により、結果として、当期純利益は減少した (▲4.9%)
- 今後の中国経済の動向により、モンゴル経済ひいてはハーン銀行の業績に影響を与える可能性がある。

	2025年3月末	2026年3月末	前年同期比
Customer accounts (預金残高) (百万MNT)	13,792,027	17,405,631	126.2%
Loans and advances to customers (net) (融資残高) (百万MNT)	11,721,700	14,369,619	122.6%

【為替レート】
2026年3月末
1円 = 22.35MNT
2026年1月～3月平均
1円 = 22.77MNT

(単位:百万RUB)

商号	ソリッド銀行(JSC Solid Bank)	科目	2025年12月期 第1四半期	2026年12月期 第1四半期	前年同期比
所在地	ロシア連邦 ウラジオストク	Net interest income (純資金運用収益)	404	398	98.5%
資本金	1,877百万RUB (RUB:ルーブル)	Net operating income (純業務収益)	1,998	1,156	57.9%
議決権の 所有割合	46.80%	Profit for the period (当期純利益)	1,214	399	32.9%
主要事業	銀行業	Total assets (総資産) 【前期末／当期末】	44,093	43,603	98.9%

会社プロフィール

- ① ソリッド金融グループの一員で、カムチャツカ地方における最大資産規模の地場銀行であり、ロシア極東地域での事業拡大を推進
- ② 日本・ロシア合併企業の特長を活かし、両国企業のビジネスマッチングやコンサルティング業務を積極的に展開

概況

- 融資残高の増加により金利収入が増加 (1,271百万RUB → 1,486百万RUB +16.9%)
預金残高の増加により金利費用が増加 (1,596百万RUB → 3,844百万RUB +25.6%) ※融資金利・預金金利はどちらも低下傾向にある
- 外為取引収支の大幅な減少により非金利収支は減少 (1,887百万RUB → 696百万RUB ▲63.1%)
※外為取引収支の減少 (1,834百万RUB → 605百万RUB ▲67.0%) (前年同期に大口の取引があり、相対的に当四半期は大幅な減少となった)
- ロシア経済は、ロシア・ウクライナ問題を起因とする幅広い経済制裁を受けており依然としてロシア経済の先行きは不透明であり、今後、ソリッド銀行が金融制裁の対象に含まれるなど、状況によってソリッド銀行の業績に大きな影響を与える可能性がある。
→2025年10月15日、英国の金融制裁対象リストに含まれた。今後、欧米主要国が追随した場合、ソリッド銀行の業績に大きな影響を与えると予想される。

	2025年3月末	2026年3月末	前年同期比	【為替レート】 2026年3月末 1RUB = 1.97円 2026年1月～3月平均 1RUB = 2.01円
Customer accounts (預金残高) (百万RUB)	20,226	30,945	153.0%	
Loans and advances to customers (融資残高) (百万RUB)	12,076	14,928	123.6%	

(単位:百万KGS)

商号	キルギスコメルツ銀行 (OJSC Kyrgyzkommertsbank)	科目	2025年12月期 第1四半期	2026年12月期 第1四半期	前年同期比
所在地	キルギス共和国 ビシュケク	Net interest income (純資金運用収益)	68	75	110.7%
資本金	1,200百万KGS (KGS:キルギスソム)	Operating income (純業務収益)	▲16	142	- %
議決権の 所有割合	52.90%	Profit for the period (当期純利益)	▲314	25	- %
主要事業	銀行業	Profit for the period (IFRS適用後当期純利益)	▲261	8	- %
		Total assets (総資産) 【前期末/当期末】	7,765	7,902	101.8%

会社プロフィール

- ① 中央アジアの新興国、キルギス共和国に本店を置く銀行
- ② 2017年6月、当社はキルギスコメルツ銀行の株式を取得し、当社グループの一員となる

概況

- 融資残高の増加により金利収入は増加 (183百万KGS → 194百万KGS +5.9%)
預金金利の上昇により金利費用は増加 (115百万KGS → 118百万KGS +3.1%)
主に外為取引収支の増加により非金利収支は増加 (60百万KGS → 73百万KGS +22.2%)
- キルギスコメルツ銀行単体の業績は、2025年3月(前期)に、キルギス中央銀行の指示により追加の引当金・費用を計上しており、そのため前期の最終損益は大幅な赤字となった。なお、連結上、その一部は前々期に取り込んでいるため、前期の連結セグメント上の損益は上記数値とは異なります。
- キルギス経済は、サービス業や製造業を中心に高成長と遂げているが、ロシア・ウクライナ問題等により今後のキルギス経済の先行きは不透明。
キルギス国の金融業は、現在、法規制等により国営銀行が競争優位にあり、キルギスコメルツ銀行の業績は依然として伸び悩んでいるが、非金利収支が増加傾向にあり、わずかに回復してきている。

	2025年3月末	2026年3月末	前年同期比	【為替レート】 2026年3月末 1KGS = 1.83円 2026年1月~3月平均 1KGS = 1.79円
Customer accounts (預金残高) (百万KGS)	5,578	5,535	99.2%	
Loans and advances to customers (融資残高) (百万KGS)	3,848	4,233	110.0%	

(単位:百万円)

商 号	株式会社STAYGOLD	期間 科目	2026年2月期 第1四半期	2027年2月期 第1四半期	前年同期比
所 在 地	東京都品川区	売 上 高	8,955	16,191	180.8%
資 本 金	90百万円	営 業 利 益	65	587	769.0%
議 決 権 の 所 有 割 合	100.00%	経 常 利 益	72	552	763.7%
主 要 事 業	リユース買取卸売・小売事業	当 期 純 利 益	95	349	364.7%
		総 資 産 【前期末／当期末】	11,777	12,970	110.1%

会社プロフィール

- ① ブランド物のアパレル、アクセサリ、時計、宝飾品、貴金属などのリユース品の買取卸売や小売事業を展開。
- ② 関東、中部、近畿を中心に店舗運営。店舗買取だけでなく、宅配買取・出張買取も実施。自社オークションを通じた販売チャネルも確立。

- ・ブランドアパレル等の中古買取・販売を行う「BRING」事業
- ・ブランド貴金属や時計等を扱う「BRAND REVALUE」事業
- ・海外販路に強みを持つ「PRICING DATA」の統合による卸販売や業者仕入を展開

BRAND
RE
VALUE

ブライバ



PRICING DATA

概 況

- 売上高は16,191百万円(前年同期比 +80.8%)。戦略通りBtoB販売を維持しつつ、店舗・ECを中心としたBtoC販売が伸長。売上総利益は3,203百万円(前年同期比 +59.1%)。PRICING DATAの売上総利益率は低いものの(3.6%)売上高の増加に伴い売上総利益も増加。販管費は2,615百万円(前年同期比 +35.0%)。積極的な人員獲得による人件費の増加の一方、WEB広告費の効率化が図られている。営業利益は587百万円(前年同期比 +669.0%)。売上の伸長と共に、広告費の効率化を中心に販売管理費率を抑制したことにより、営業利益は大幅増益。
- 国内リユース市場は拡大基調を維持しており、SDGsや環境意識の高まり、インバウンド需要の回復が追い風となっている一方で、継続する物価上昇が個人消費に及ぼす影響や、金融資本市場の変動、さらには海外における景気下振れリスクなど、依然として先行き不透明な状況が続いている。

(次スライドへ続く)

(単位:百万円)

概 況

- PRICING DATA社との合併により、海外販路・データ・システムの三位一体によるシナジーを創出すべく、既存事業の在庫を横断的に管理し、高回転・高利益体質への転換を図る。特に低単価商材の海外販売チャネル構築が進み、国内で滞留していた在庫を利益化する仕組みづくりが進展しており、タイでの現地法人STAYGOLD HOLDINGS (THAILAND) CO.,LTD設立も完了し、本格的な海外でのBtoC販売も加速させる。

	2026年2月末	2026年5月末	前期末比
棚卸資産（在庫残高）（百万円）	5,022	5,828	116.0%

- 上記業績等はSTAYGOLD単体の数値であり、連結上は無形固定資産やのれんの償却費が計上されているため、上記数値とセグメント利益とは一致していません。
- また、前期1QはPRICING DATA社の連結・合併前であり、同社の数値を含んでいません。

《決算期の異なる会社の取扱い》 当社の決算期(3月期)と異なる以下のグループ会社に関する取扱い

会社名	決算期	連結財務諸表における取扱い／本資料の記載
ハーン銀行	12月	■ 当社の連結財務諸表の作成に当たっては、各社における第1四半期決算日(3月31日)現在の財務諸表を使用。また、連結決算日との間に生じた重要な取引は、連結上必要な調整を行う。 ■ 本資料のグループ各社の紹介ページでは、2026年1月～3月(又は3月末時点)の状況を記載(現地通貨ベース)。
キルギスコメルツ銀行		
ソリッド銀行		
HS Financial		
STAYGOLD	2月	■ 当社の連結財務諸表の作成に当たっては、第1四半期決算日(5月31日)現在の財務諸表を使用。また、連結決算日との間に生じた重要な取引は、連結上必要な調整を行う。 ■ 本資料のグループ各社の紹介ページでは、2026年3月～5月(又は5月末時点)の状況を記載(STAYGOLD単体ベース)。

《為替レート》 以下のグループ会社の財務諸表において、現地通貨を円換算する際に使用した為替レート

会社名 【現地国名】	現地通貨	2025年12月期第1四半期		2026年12月期第1四半期	
		期末レート (2025年3月末)	平均レート (2025年1月～3月)	期末レート (2026年3月末)	平均レート (2026年1月～3月)
ハーン銀行 (Khan Bank JSC) 【モンゴル国 (Mongolia)】	トゥグルグ (MNT)	1円＝23.40MNT	1円＝22.64MNT	1円＝22.35MNT	1円＝22.77MNT
キルギスコメルツ銀行 (OJSC Kyrgyzkommertsbank) 【キルギス共和国 (Kirghiz republic)】	ソム (KGS)	1KGS＝1.74円	1KGS＝1.76円	1KGS＝1.83円	1KGS＝1.79円
ソリッド銀行 (JSC Solid Bank) 【ロシア連邦 (Russian Federation)】	ルーブル (RUB)	1RUB＝1.76円	1RUB＝1.64円	1RUB＝1.97円	1RUB＝2.01円